（共同リリース）

2019 年 4 月 10 日
日本航空株式会社
NTT コミュニケーションズ株式会社

JAL と NTT Com が近未来型受付サービスのトライアルを実施

～3D ホログラムとビデオ通話を組み合わせて有人カウンターを再現～

日本航空株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長：赤坂 祐二、以下、「JAL」) と、NTT コミュニケーションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：庄司 哲也、以下、「NTT Com」）は共同で、3D ホログラムのディスプレイ操作とビデオ通話による受付サービス（以下、本サービス）を、羽田空港国際線サクララウンジにて 4 月 10 日（水）から 4 月 21 日（日）までの間トライアルとして実施します。

1. 背景

JAL と NTT Com は、新たなテクノロジーを活用したイノベーションの創出を目的にラボ・アライアンス※1 を推進しています。本サービスは、「JAL Innovation Lab ※2」と NTT Com が連携した実証実験の第一弾として、NTT Com が提供する 3D ホログラム技術「エアリアル UI ソリューション」（以下、エアリアル UI）※3 の、受付サービスとしての活用可能性を検証するものです。

※1：両社のラボ（新しい付加価値やビジネスを創出する場）同士の交流により、よりスピーディーに、よりイノベーティブな価値を創造するための協力関係です。

※2：2018 年 5 月 29 日付プレスリリース「オープンイノベーションの拠点として JAL Innovation Lab を開設」参照
URL：http://press.jal.co.jp/ja/release/201805/004736.html

※3：ガラス製の特殊なパネルにディスプレイを放射する光を通過させることで空中に映像を浮かび上がらせるホログラム映像技術です。

2. 実施概要と特長

＜概要＞

エアリアル UI を用いた 3D ホログラム・ディスプレイと、WebRTC※4 を用いたビデオ通話により、JAL のラウンジにおけるシャワールームの受付案内を、遠隔地にいるスタッフが行います。また、スマートロックを使ってリモートでシャワールームを遠隔から開施錠し、満室時には、空き次第、お客さまに利用可能な旨のご案内を SMS（ショートメッセージサービス）にてお知らせします。

※4：Web Real-Time Communication の略で HTML5 仕様の一部として、W3C, IETF によって標準化されたリアルタイムコミュニケーション機能を実現するための技術仕様です。パソコンやスマートフォンのブラウザやネイティブアプリで、サーバーを介さない P2P のリアルタイム通信（音声・データ）を実現します。

＜特長＞

（1） エアリアル UI により、まるで「対面」のように親しみやすく、かつスムーズなご案内が可能になります。

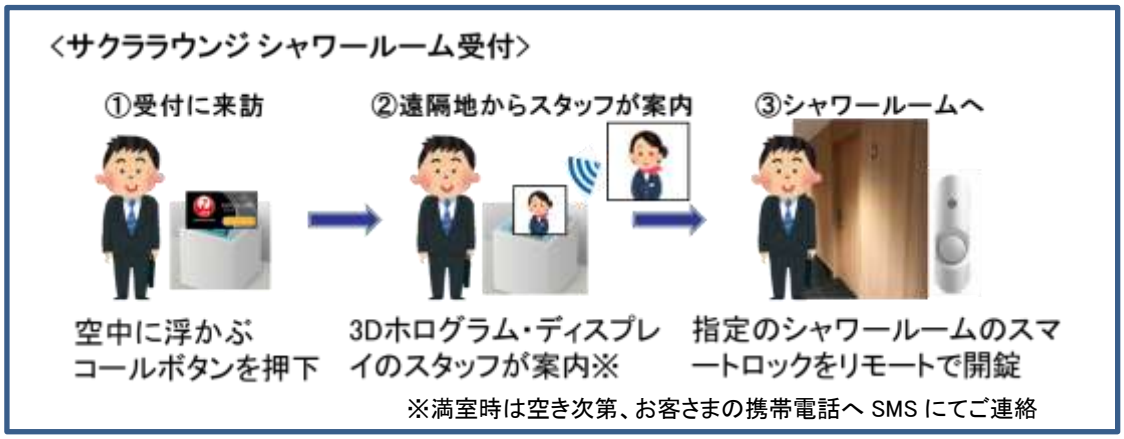
（2） お客さまが空中に浮かぶコールボタンを押下すると、遠隔地のスタッフが表示され、ビデオ通話にてご案内を行い、ラウンジが混雑する時間帯でもお待たせすることなくシャワールームの開施錠を行います。

エアリアル UI イメージ画像

画像はイメージのため実際と異なります

・実施場所　羽田空港国際線サクララウンジ シャワールーム専用受付カウンター
・実施期間　2019 年 4 月 10 日（水）から 4 月 21 日（日）まで
・実施時間　12 時～15 時 ／ 21 時 45 分～23 時（予定）

＜ご利用の流れ＞



3. 今後の取組み

本サービスを通じて得られたお客さまからの評価に基づき、よりスムーズにご案内できるサービスの実現を目指します。また、両社は今後もラボ・アライアンスから生まれるイノベーションを通じて、すべてのお客さまが常に新鮮な感動を得られるよう魅力あるサービスの実現を進めてまいります。